

ある程度重量のあるものを下に降ろし、ロープを回収する

この結び方は確実性の低いやりかたです。ちょっとした刺激で解けてしまうことがあります。体を支えたりすることは出来ません。使わなくなった工具を下に降ろす場合など限定的な使い方です。



元のロープに輪を作り、端のロープを折り返して輪の中に入れます。

元のロープにテンションが掛かっている時には吊り下げたものを保持できますが、テンションが緩むと結ぶが外れ、解けてしまいます。ですからものを下ろして下に付いたらロープを揺すって結びを解き、ロープが回収できるのです。



ものを吊るしている下側の 2 本が鋭角になり、元のロープがしっかりとその根元を押さえるようにすると、重量に耐えられる結びになります。2 本の角度が広がり、元のロープがその根元を十分にまとめていないと、この結びはすぐに外れてしまいました。実際に使用では結びが重量に耐えられることをしっかり確認してから作業を行います。